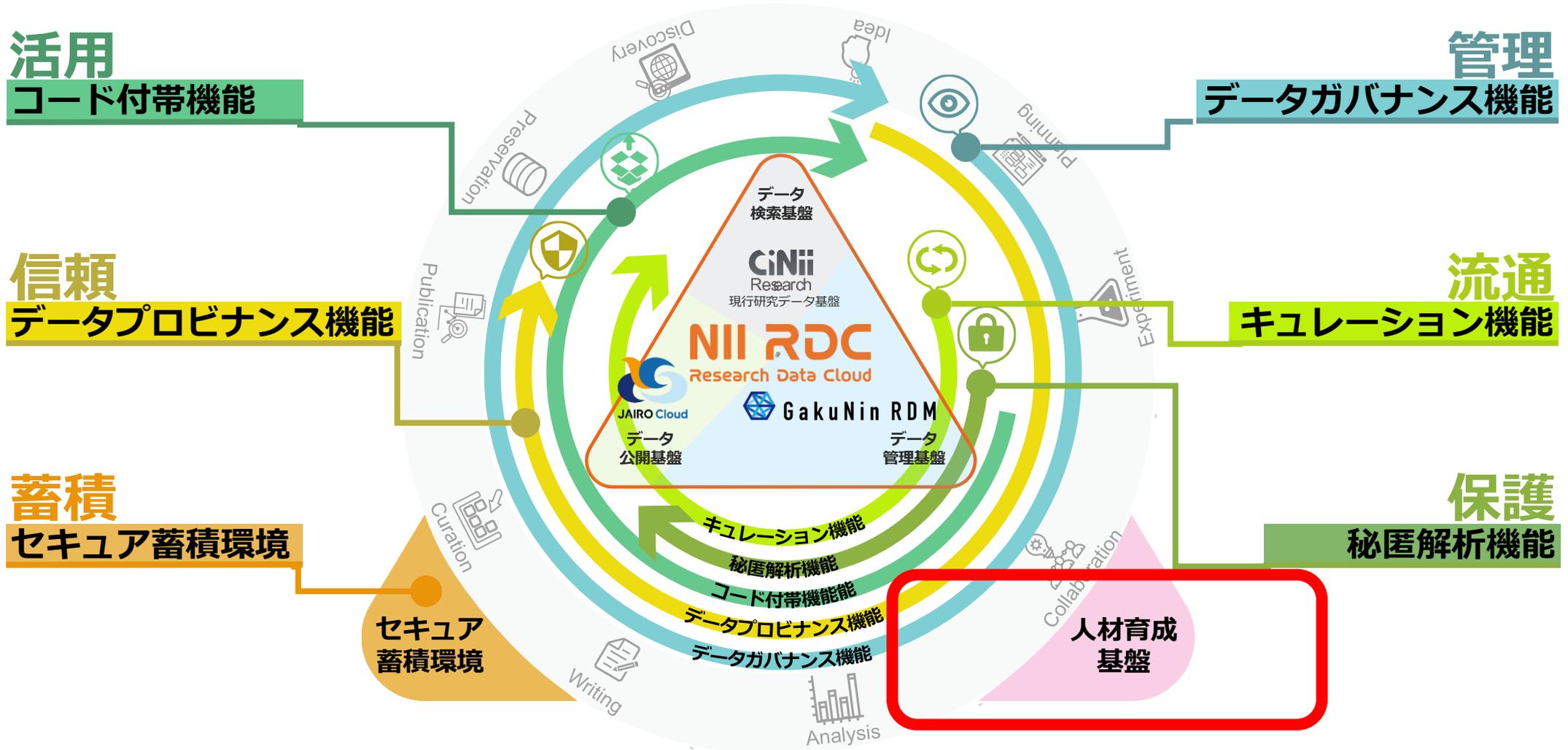


研究データ管理の知識・スキルを 職種別に習得するための機能開発

国立情報学研究所
オープンサイエンス基盤研究センター
特任助教
長岡千香子

NII RDCと人材育成



学認LMSで提供する研究データ管理コース

1	オープンサイエンス時代における研究データマネジメント基礎 (2025.6.10開講)	オープンサイエンスの動向や研究データ管理のライフサイクル・必要性等、研究データ管理に必要な基礎的な知識・スキルを提供
2	GakuNin RDM利用支援コース	研究データ管理基盤GakuNin RDMをこれから使い始める方や、もっと活用したい方のためのコースです。GakuNinRDMの導入や活用に役立つ基本知識を提供
3	GakuNin RDM利用支援コース：研究室編 (2025.6.10開講)	研究データ管理基盤GakuNin RDMを研究室で利用する方で、ご自身の研究活動にあわせた基本的な操作をできるようにになりたい方におすすめのコース。研究室の年間活動を想定した4つの項目で構成
4	情報基盤スタッフ向けの研究データマネジメント	JPCOARが公開した「研究者のための研究データマネジメント」を元に、大学ICT推進協議会（AXIES）研究データマネジメント部会のメンバーにより、情報基盤スタッフ向けに再構成・加筆した教材。

研究データ管理の教育と職業/個人差



図書館職員



研究者



学生・院生



URA



研究データ
管理担当者

職業によって、**必要な知識・スキルは異なる**

例：図書館職員：データの公開や共有、情報基盤職員は基盤構築など

同じ職業でも、**経験によって知識やスキルは異なる**

例：新人とベテランの違い、前職でみにつけた知識など

スキルに基づくコンテンツ流通および人材可視化

国立情報学研究所オープンサイエンス研究データ基盤作業部会
トレーニング・サブ・ワーキング・グループ (2021)

研究データ管理支援人材に求められる標準スキル (ver.0.1)

<https://repository.nii.ac.jp/records/2000219#%2F.YUR2Obj7SUI>

- 研究データ管理の支援に関わる「業務」をフレームワークとして、研究データ管理の支援業務を遂行するにあたって、研究分野を問わずに求められる、知識・技術（スキル）・能力・行動特性（コンピテンシー）を整理
- スキルと職業（図書館職員やURAなど）の関係性についても整理

RDMスキル一覧表

このスキルの説明については、以下をご参照ください。

[研究データ管理支援人材に求められる標準スキル](#)

スキルの追加や修正を希望する場合は、READMEへ書かれているMLへご連絡ください。

[標準スキルへの追加や修正のご提案について](#)

以下でキーワード、職種（現在は3つの職種のみ対応）、研究段階別にスキルを絞りこむことができます。

職種と研究段階別の掛け合わせでの検索も可能です。

キーワード検索

職種別に必要なスキルを表示する

全て表示 共通 URA RDM IT

研究段階別に必要なスキルを表示する

全て表示 全段階 研究前段階 研究中 研究後

スキル表示

No	段階	業務区分	業務の詳細	スキル区分	スキルID	業務に必要なスキル（知識・技術・能力・行動特性）	スキルの詳細	業務を担う職種（参考）	作成日	変更日	削除日	最終更新日
1	全段階（共通）	全業務（共通）		汎用スキル	G00000001	学習・挑戦	情報テクノロジーの急速な発展や、政策動向の変化に対応して、スキルのアップデートに取り組み続ける意欲。新しいことに挑戦する意欲。既存の枠にとらわれずにものごとを考えられる柔軟性。	全職種（共通）	2021/3/31			2021/3/31
2	全段階（共通）	全業務（共通）		汎用スキル	G00000002	ネットワーク（人脈形成）	同業者等で同じ興味・志・課題を有する人・コミュニティ等と、ネットワークを構築する能力。	全職種（共通）	2021/3/31			2021/3/31
3	全段階（共通）	全業務（共通）		汎用スキル	G00000003	インタビュー・傾聴	研究者や関係各所と適切な信頼関係を築いたうえで、相談に耳を傾ける能力。さらに、必要に応じて、課題や要望の詳細を引き出す技術	全職種（共通）	2021/3/31			2021/3/31

研究データ管理標準スキルを以下の項目ごとに絞り込んで表示する機能

- 職業別（URA、RDMコーディネータ、情報基盤スタッフ）
- 研究段階別（全段階、研究前段階、研究中、研究後）

研究データ管理に必要な職種別のラーニングパス表示機能

☰ CF Learning Path

概要

URI:
<https://cf-learning-path.test.lms.nii.ac.jp/learning-paths/687db205-e1bf-4c37-af7e-cb8841f98b7e>

タイトル:
研究データ管理担当者向けのラーニングパス

説明:
研究データ管理に携わる研究データ管理担当者向けのラーニングパスです。

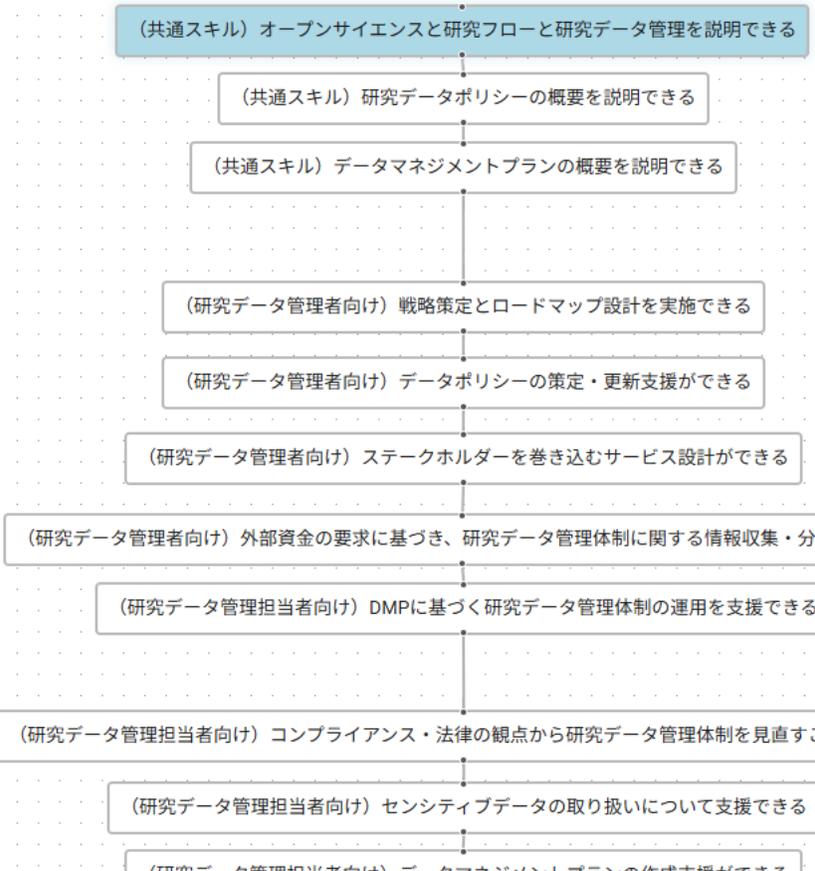
提供者:
国立情報学研究所 オープンサイエンス基盤研究センター

言語:
日本語

バージョン:
ver.0

学習方法

学習形態:



```

graph TD
    A["(共通スキル) オープンサイエンスと研究フローと研究データ管理を説明できる"] --> B["(共通スキル) 研究データポリシーの概要を説明できる"]
    B --> C["(共通スキル) データマネジメントプランの概要を説明できる"]
    C --> D["(研究データ管理者向け) 戦略策定とロードマップ設計を実施できる"]
    D --> E["(研究データ管理者向け) データポリシーの策定・更新支援ができる"]
    E --> F["(研究データ管理者向け) ステークホルダーを巻き込むサービス設計ができる"]
    F --> G["(研究データ管理者向け) 外部資金の要求に基づき、研究データ管理体制に関する情報収集・分析"]
    G --> H["(研究データ管理担当者向け) DMPに基づく研究データ管理体制の運用を支援できる"]
    H --> I["(研究データ管理担当者向け) コンプライアンス・法律の観点から研究データ管理体制を見直すことができる"]
    I --> J["(研究データ管理担当者向け) センシティブデータの取り扱いについて支援できる"]
    J --> K["(研究データ管理担当者向け) データマネジメントプランの作成支援ができる"]
    
```

以下の3つの業種について、スキルを整理、ラーニングパスを作成し、表示機能へ実装

- 研究データ管理担当者 (RDMコーディネータ)
- 図書館職員向け
- 情報基盤職員向け

職種別に研究データ管理について学習する個別最適化機能



Home ダッシュボード マイコース

 **GakuNin**
LMS

日本語 (JA) ▾

研究データ管理の個別最適化学習支援コース (スキル最適化)

ユーザ属性

あなたのユーザ属性は以下のとおりです。

- **大学図書館職員**
図書館職員は、大学や研究機関で働き、機関リポジトリにおいて研究データの整理・登録を行う役割を担うことが期待されています。研究論文のオープンアクセス化や研究データ管理の公開を担当する責任を負います。

学習テーマ

学習テーマごとの状況は以下のとおりです。

学習テーマ「テーマ1：オープンサイエンスと研究データ管理の基礎」

このテーマと関連する教材

- **Pre-Test to check skills in Theme1** **未着手**
このテーマのスキルを確認するための事前テスト
- **LO1_1: オープンサイエンスと研究データ管理** **未着手**
LO1_1: オープンサイエンスと研究データ管理
- **LO1_2: 研究データポリシーの作成と更新** **スキップ可能**

- ラーニングパスに基づいて職種別に個別最適化された学習コンテンツを学習
- 事前テストの結果をもとに、最低限の学習で済むように設計